

## 「アジェンダの日 2008」に出展

11月1日、(土) 2日(日)の両日、神奈川県環境計画課のイベント「アジェンダの日 2008」に参加出展をした。



今年は、テレビ神奈川(TVK)の「08秋の収穫祭」と合同開催となった。会場も野外で、会場：横浜 NEWS ハーバー、第2会場：日本大通り、第3会場：神奈川県庁前と広範囲にわたった。

1日は、週間気象予報では午前にも雨もあると報じられていたが、素晴らしいお天気。2日も、薄曇りから午後は陽光も射すまずまずの天気で、絶好のイベント日和となった。

家族連れ、年配者ペア、若いペア、お孫さん連れなど次々と訪れて大賑わいだった。

われわれ PV-Net 神奈川のブースは、日射の得られる場所をということで設定されていたので、朝のうちから、太陽光パネルは順調な発電してくれた。

今回の展示内容は、いつもの太陽光発電に関するパネル展示の他に、愛知万博に出展したソーラータウンが戻ってきたので、これを公開展示した。あちこち壊れていたが、何とか修復、電車も観覧車も風車も動かすことができた。これを太陽光発電で稼働させたので、見学者の関心と子供たちの人気を呼んだ。



その他、モジュールの実物での発電で、噴水を常時噴射させた。初日は太陽光が強く、3メートルも噴き上げ、近所に水飛沫がとぶので、やむなく先端のノズルを取り去る始末。

噴射の勢いで日射の様子や影の影響、白熱電灯のエネルギー消費等の実際を見せながら説明ができた。

以前からのドールハウスも展示した。

日射がよかったので、ソーラーのミニカーを路上で走らせ、子どもたちを喜ばせていた。

当初「太陽光発電でドン」もやろうとしたが、人手不足で無理ということで取りやめた。



相談コーナーでは、いつもの説明会での説明ポイントをまとめたパンフレットを用意して、太陽光発電の導入を訴えた。世界の情勢、わが国の施策、補助金が復活したこと、排出量(CO2)の取引などを一生懸命に話したが、大部分の見学者は、景品などをくれるブースを渡り歩くだけ。「太陽光発電をつけましょう」、「地球が大変なんです」と呼びかけても無視して通り過ぎる。一般市民の関心の低さに寒気がした。

中には熱心に聞いてくれる方もいる。「補助金いくら出るの」、「家は何キロつけたらいいでしょもうつけると決めているけど、いつ申請したらいい、補助金もらうのに」。世界が太陽光発電に動いているのですよという、「それならもう少し待った方が(価格)下がるね」それには参った、参った。

「政府の政策が駄目」だと、日本もドイツやヨーロッパのように、高額買取制度でも導入しなければ、京都の約束など守れないよと、熱心に話してくれる。こっちのいいたいことをみな言ってくれる人もいた。

ほぼ、充実した展示発表ができたように思われる。

横谷 記

お手伝いくださった方、

1日目:田辺、北村、本田(金沢近隣 G)横谷

2日目:橋都、岩崎(近隣 G保土ヶ谷)藤田(近隣 G金沢)、田辺「午後」、横谷